

Sustainable Report No.152

ごみを収集する人の 労働環境とは

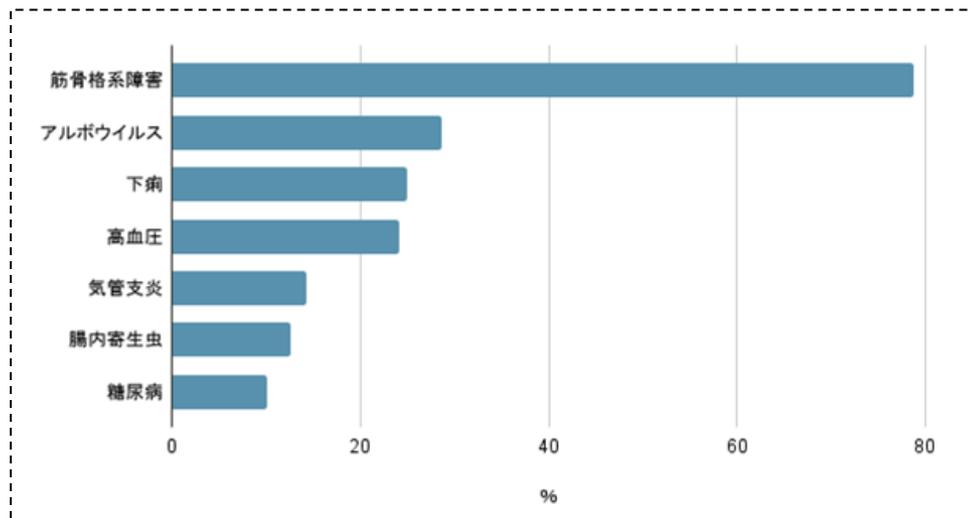


Satisfactory

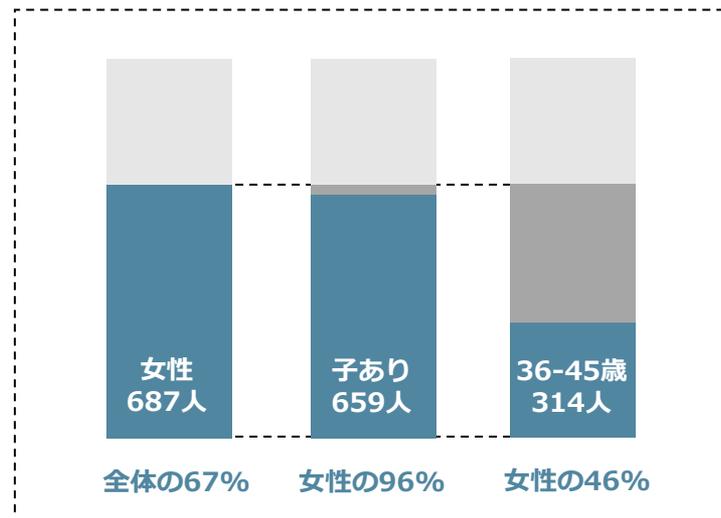
■ ごみから有価物を拾い集める生活と、ごみ捨て場の環境

- 多くの途上国では、**ごみが中間処理されず**空き地や湿地の**オープンダンプへそのまま投棄**される。生ごみやプラスチック、金属ごみなどが分別されずむき出しに放置され、不衛生な環境が深刻化している。
- ブラジルのウェイトピッカー1,025人を対象にした調査と健康診断の結果によると、68%にあたる704人が**ごみの収集中に怪我や病気を経験**していた。（2019年値）
- 貧困層ゆえに、治療資金の確保のためにさらにごみ山へ通い、病気が進行する悪循環を招いてしまっている。

■ アンケート「ウェイトピッカーが抱える病気」



■ 男女混合1,025人のインタビュー対象内訳



出典：左右ともに、University of Brasiliaの公開記事より筆者作成

病気や怪我の発生源を根絶するには？

■ 個人から集団で行うごみ拾いへ変化

- 世界銀行や各国政府は、ごみが堆積する**ごみ山をリサイクル施設に作り変え**、続々とゴミ山の閉鎖を進める。
- チュニジアでは2001年に**国営の廃棄物管理システム「Eco-Lef」**が開設された。プラスチック等を好条件で買い取るため、ウェイトピッカーは**システムを通して収集することで収入増加**が見込める。
- より安全かつ効率的にごみを収集するためには、**ごみを捨てる時から適切な分別**を促すことが欠かせない。

■ 世界各地域のごみ山閉鎖状況

閉鎖年	国	地域
1995年	フィリピン	スモーキーマウンテン
2011～ 2012年	ブラジル	リオデジャネイロ
2000～ 2014年	ヨルダン	西岸地区

出典：[世界銀行](#)

■ プラスチック買取価格の比較



出典：WHAT A WASTE 2.0

排出者が分別を意識する施策とは？

■ 地産地消と同じく、自身が捨てたものを追跡できる仕組みづくり

- ごみを捨てる人が安全なごみの捨て方の知識を持たず、**分別不良による影響を計れない**のではないかと。
- **ごみを捨てる人と収集・処理する人が対話**可能なアプリケーション等を通じて、顔の見える関係で互いの事情を把握できる環境設計が理想である。
- ごみを収集する人がごみの出し方を点数で評価し、高得点者にはインセンティブを設ける方法がある。その実現と継続には、社会的かつ経済的なメリットを与える適正処理に、自治体等が理解・協力する必要がある。

■ 世田谷区：刃物類の捨て方

不燃ごみの品目	注意事項
ガラス・陶磁器 ・刃物類	最も長い辺が30センチ以下のものが対象です。 <ul style="list-style-type: none">● 刃物類（カッターの折れ刃なども含む）● ガラスや割れたびん、刃物などの鋭利なものは、ケースや厚紙などで包み「キケン」と表示し、他の不燃ごみとは別の袋でお出してください。

引用：世田谷区「[不燃ごみの品目と注意事項](#)」

■ 分別不良による火災後の写真（乾電池より発火）



出典：[茨城県 鹿嶋市](#)

対話をしてお互いWIN-WINの関係へ

■ 国営の廃棄物管理システム「Eco-Lef」

- 2001年にチュニジアで発足。
- 以後、全土で収集された15万トン以上のプラスチックの内、70～90%が当システムによる。
- プラスチックのリサイクルが容易になった。

参考：WHAT A WASTE

■ チュニジアの地図：首都チュニス



出典：WHAT A WASTE

■ リオデジャネイロ郊外のごみ山閉鎖（ブラジル）

- ごみ山閉鎖に伴い、1,700人のウェイトピッカーが退去させられた。
- 政府からウェイトピッカーに対して約35万円相当の補償金が支払われた。

参考：[Brazil's biggest rubbish dump closes in Rio de Janeiro](#)

■ Eco-Lef Woekers

- 日本のNGO「JEEF」は、ウェイトピッカーを対象に能力支援活動を行う。
- 衛生管理支援として、皮膚や粘膜を守るマスク・手袋・長靴等の着用の重要性を指導する。
- 識字教育支援として、ベンガル語のアルファベット勉強や買物で使用する算数の勉強を支援。参加した40世帯の9割以上で取得。

参考：公益社団法人 日本環境教育フォーラム（JEEF）

■ 参照・引用資料

- BMC Public Health, 「Health conditions and occupational risks in a novel group: waste pickers in the largest open garbage dump in Latin America」,2019年10月 (<https://bmcpublihealth.biomedcentral.com/track/pdf/10.1186/s12889-019-6879-x.pdf>)
- アイ・シー・ネット株式会社 「カンボジア国 環境・エネルギー・廃棄物処理分野、職業訓練・産業育成分野、農業分野に関するニーズ調査」,2016年3月 (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000151384.pdf>)
- グローリア セブ, 「深刻な環境問題をひき起こすゴミ山がフィリピンから消える日」,2021年5月23日 (https://gloleacebu.com/environment_issues/)
- REGENIZE, 公式ホームページ,2022年 (<https://www.regenize.co.za/>)
- 世界銀行, 「What a Waste: 固形廃棄物管理の未来に関する最新の分析」,2018年9月20日 (<https://www.worldbank.org/ja/news/immersive-story/2018/09/20/what-a-waste-an-updated-look-into-the-future-of-solid-waste-management>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先： info@sfinter.com



株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム『**KIZUNA ESD**』を企業に提供しております。全ての従業員によるサステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用の導入と内製化を支援いたします。

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

—— サステナブルレポートとは？ ——

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、サティスファクトリー社員が調査報告書を作成・発信しています。



全従業員で
毎週更新中